



日本 IFToMM 会議

Japanese Council of IFToMM



入会のご案内

IFToMM とは

IFToMM (イフトム) は International Federation for the Theory of Machines and Mechanisms の略称です。1965 年にブルガリアの Varna で最初に開催された The 1st World Congress on Theory of Mechanism and Machine において提案され、4 年の討議を経て、1969 年に機構と機械の理論に関する国際的学術組織として創立されました。現在では我が国を含め世界の 46 の国と地域が加盟しており、機構学、機械運動学、ロータダイナミクス、機械の振動騒音、バイオメカニズム、ロボット・マニピュレータ、メカトロニクス、マイクロメカニズム、CAD、油空圧からエレクトロニクスにいたる分野の教育、研究に携わる研究者、技術者の幅広い国際交流の場として運営されています。現在では、取り扱う分野が「機構と機械の理論」に限らず、機械工学関連の広い分野に拡大したことから、名称を International Federation for the Promotion of Mechanism and Machine Science と発展的に変更していますが、歴史的経緯や知名度を考慮して、略称としては引き続き IFToMM を継承しています。

IFToMM の活動範囲は、学術分野のみならず、科学史、教育方法、産業界への応用など広い分野に及んでおり、開発途上国援助のための研究者、技術者の斡旋、派遣などの活動も活発に行っています。最大の学術交流の場である IFToMM World Congress は 4 年に一度開催され、各種委員会の会議や研究論文発表を通して専門家の交流がはかられています。近年の World Congress では、約 50 カ国から 500 名以上の参加があり、我が国からも多くの研究が発表され、ますますこの会議の重要性が増しています。そのほか、IFToMM 主催・共催の国際シンポジウムが毎年各地で開かれており、そこでの成果発表の多くは IFToMM 公認の学術雑誌である Mechanism and Machine Theory (2020 IF: 3.866) から発信されています。

IFToMM World Congress 開催地

1965 年	ブルガリア (ヴァルナ)	1995 年	イタリア (ミラノ)
1969 年	ポーランド (ザコパネ)	1999 年	フィンランド (オウル)
1971 年	ユーゴスラビア (クパネ)	2004 年	中華人民共和国 (天津)
1975 年	英国 (ニューカッスル・アポン・タイン)	2007 年	フランス (ブザンソン)
1979 年	カナダ (モントリオール)	2011 年	メキシコ (グアナファト)
1983 年	インド (ニューデリー)	2015 年	台湾 (台北)
1987 年	スペイン (セヴィラ)	2019 年	ポーランド (クラコフ)
1991 年	チェコ (プラハ)	2023 年	日本 (東京) ※予定

日本 IFToMM 会議について

日本 IFToMM 会議は、IFToMM の趣旨のもとに 1978 年 7 月に設立され、1979 年 7 月に我が国の代表として IFToMM に加盟しました。現在、個人会員約 100 名、賛助会員企業 1 社の参加を得て活動しています。運営には、本会議の総会で選出された約 30 名の実行委員があたり、「日本 IFToMM ニュース」によって世界のこの分野の動向を紹介したり、関連する国際会議の情報を会員に展開しています。また、国内研究者の交流を活性化するために、1995 年から日本 IFToMM 会議シンポジウムを開催してきました。2018 年からは日本 IFToMM 会議主催の国際シンポジウムへと発展しています。詳細は日本 IFToMM 会議 web サイト (<http://www.jc-iftomm.org/>) をご覧ください。

(個人会員の特典)

- (1) 日本で開催される日本 IFToMM 会議国際シンポジウムに会員価格で論文を発表し、討議することができます
- (2) 日本 IFToMM 会議国際シンポジウム論文集が無料で配布されます
- (3) IFToMM あるいは各国の IFToMM が主催するシンポジウム等に会員価格で参加できます
- (4) 各国との研究交流に関する情報が提供されます

